

会議録

| | | |
|------|-----|--|
| 会議名 | | 令和7年度第2回愛川町地域公共交通協議会 |
| 開催日時 | | 令和7年12月11日(木) 午後2時00分～午後3時10分 |
| 開催場所 | | 愛川町役場2階 201会議室 |
| 出席者 | 委員 | 12人(別紙のとおり) |
| | その他 | 2人(代理出席) |
| | 事務局 | 5人(政策秘書課長 他4人) |
| 会議次第 | | <p>1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 　　愛川町地域公共交通計画素案について 4 その他 5 閉会</p> |

審議経過

(1 / 4)

※審議の要旨は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

次第1 開会

次第2 あいさつ

次第3 協議事項

愛川町地域公共交通計画素案について

●（資料に基づき説明）

○（委員A）公共交通を持続可能な形にしていくためには、運行に係る経費がなんらかの形で賄えているスキームが成り立つことが前提となる。かつては、公共交通の基盤整備は税金でやって、ランニングコストは受益者負担とするのが基本であった。今後、民間では事業が成り立たなくなって路線バスが廃止となり、コミュニティバス等で代替するとしたときに、ランニングコストにも税金を投入せざるを得なくなってくるので、受益者負担と行政の負担割合を整理しておく必要があると考える。計画書を読んだ時に、例えば、新たな交通手段の導入についても、全て税金で運用していくのかと捉えられかねない。受益者の負担と行政の負担割合のバランスを取ることぐらいは、明記しておいた方が良いのでは。

●どういった形で盛り込むか検討する。

○（会長）重要な論点であると思う。町内循環バスの収支率については、指標でも設定をしているが、いずれこの目標値も見直す必要が出てくると思う。町民、行政、事業者の役割分担、負担割合のバランスをどうしていくかという視点は、計画に記載するべきと思う。

審議経過

(2 / 4)

○ (委員B) 今後のスケジュールについて確認だが、町議会への報告はするのか。

●策定後、計画書を議員へ配布する予定である。

○ (委員C) 鉄道を誘致する考えはあるのか。

●小田急多摩線の延伸について、国の交通政策審議会の答申で上溝まで延伸するとされているほか、「かながわ交通計画」でも、愛川・厚木方面への延伸が構想路線と位置付けられている。加えて、「町総合計画」でも、鉄道の延伸促進を位置付けている。これらを踏まえて、本計画でも、施策に「鉄道の誘致推進」を位置付けている。

○ (委員C) 工業団地が出来た当時に、愛川町に鉄道がくるという話を聞いて引っ越してきた方もいるようで、未だにその話をされることがある。町から関係機関に要請などはしていないのか。

●毎年、県の鉄道輸送力増強促進会議を通じて、事業者へ要望を行っている。また、相模原市でも、町田市等と研究を進めているところである。

○ (委員D) 私も小田急多摩線の延伸を促進する住民団体で活動をしており、ふるさとまつりなどの機会を捉えてPRしている。「かながわ交通計画」に新たに構想路線として位置付けられたように、少しずつ前進はしているところが、長期的な取組みとなる。

○ (会長) 本計画は、令和12年度までの5年間の計画であるので、この計画期間中に何をやるかということになると、素案にあるとおり、「鉄道の誘致推進」となると思う。

○ (会長) 高齢化が進み、車を長距離運転することに自信がなくなってくる人も多く

審議経過

(3 / 4)

なってくる。せっかく愛川バスセンターから多くのバスが出ているので、例えば、愛川バスセンターで車とバスの乗り継ぎが出来る、小規模なパーク＆ライドのような駐車場を整備するのも良いと思う。

○（委員E）自家用車だけでなく、代行の車などに乗り継ぎ出来ると良い。

○（委員C）先日、厚木に行く用事があったが、駐車場の立地が分からなかつたので妻田の知り合いの家まで車で行って、そこからバスを使った。減便が相次いでいるが、バスが5分おきくらいに出ており、路線によってはまだこういう状況もある。

○（会長） そうした幹線路線が運行しているエリアまで出る手段があれば、便利に移動が出来る状況にはある。サイクル＆バスライドも一つの手段であるが、車もこういう使い方が出来る。先ほど、妻田まで車で行って、その後はバスで移動されたと仰っていたが、妻田ではなく、愛川バスセンターでもいいわけである。

○（委員F）施策に「愛川バスセンターの整備」とあるが、箱物を作る考えはあるのか。

●本施策は、先ほど会長からも話があったような、乗り継ぎや乗り換え利便の向上を図るための機能強化を検討するイメージである。愛川バスセンターについては、市街化調整区域にあり、建物を建てるにハードルもあるようなので、こうしたところは関係機関と相談の上、検討していきたい。

○（委員C）昔、半原には中津渓谷があり賑わっていた。停留所にベンチや売店もあり、大変良かった。

●現在も上屋やベンチは整備されている。快適なバス待ち環境の整備に向けて、引き

審議経過

(4 / 4)

続き検討してまいりたい。

●本日いただいたご意見を踏まえ、素案を整理し、改めて会長にご確認いただくこととする。

次第4 その他

次第5 閉会

令和7年度第2回愛川町地域公共交通協議会 出席者名簿

| No. | 選出区分 | 氏名 | 団体・役職等 | 出欠 |
|-----|--------------------------------|--------|-------------------------------|-----------|
| 1 | 学識経験者 | 鈴木 文彦 | 交通ジャーナリスト 日本バス文化保存振興委員会理事長 | |
| 2 | 公共交通事業者等 | 小堤 健司 | 一般社団法人神奈川県バス協会常務理事 | 欠 |
| 3 | 公共交通事業者等 | 小嶋 光行 | 一般社団法人神奈川県タクシー協会理事 | 欠 (代理) |
| 4 | 公共交通事業者等 | 橋山 英人 | 神奈川中央交通株式会社運輸計画部計画担当課長 | |
| 5 | 道路管理者 | 川田 宗弘 | 厚木土木事務所工務部長 | 欠 |
| 6 | 公安委員会 | 千葉 正広 | 厚木警察署交通第一課巡回部長 | |
| 7 | 地方運輸局 | 加納 光博 | 国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局首席運輸企画専門官 | 欠 |
| 8 | 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体 | 河口 健 | 神奈川県交通運輸産業労働組合協議会幹事 | |
| 9 | 地域公共交通の利用者 | 吉邑 高志 | 愛川町区長会会长 | |
| 10 | 地域公共交通の利用者 | 中村 慎輔 | 愛川町中学校校長会会长 | |
| 11 | 地域公共交通の利用者 | 馬場 洋一郎 | 愛甲商工会副会長 | |
| 12 | 地域公共交通の利用者 | 荒井 英明 | 神奈川県内陸工業団地協同組合専務理事 | |
| 13 | 地域公共交通の利用者 | 馬場 紀光 | 県央愛川農業協同組合代表理事組合長 | 欠 |
| 14 | 地域公共交通の利用者 | 足立原 善司 | 愛川町老人クラブ連合会副会長 | |
| 15 | 地域公共交通の利用者 | 岡部 真由美 | 愛川町身体障害者福祉協会会长 | 欠 |
| 16 | 地域公共交通の利用者 | 齋藤 光枝 | 愛川町婦人団体連絡協議会理事 | |
| 17 | 関係する行政機関 | 廣野 修一 | 神奈川県県土整備局都市部交通政策課副課長 | 欠 (代理) |
| 18 | 計画を策定しようとする市町村 | 後藤 昭弘 | 愛川町総務部長 | |